

全社委(全国社会的課題委員会)では、大学生協としての社会的課題への向き合い方を検討し、各会員生協やブロックでの取り組みを集約・分析・普及しています。

## わたしの#ちよつきに

今回の担当は藤江正俊さん(全国社会的課題委員会)です！  
みんなも #ちよつきに でSNS発信しよう！



藤江正俊  
全国大学生協連合会  
理事会室

### ちよつきに

日常生活の中で「ちよつと」気になるけど自分で調べるほどではないなあ  
というところを調べてみたら社会とつながっていたことを知らせたい！

「成年年齢の引き下げについての緊急アンケート(第2弾)」結果概要  
若者の「成年年齢引き下げ」認知度は高いが、理解度はまだまだ低い？

#### ○ニュースの概要

- Googleフォームによる年代別Web調査を実施。
- 回答総数(565人)のうち、「19歳以下」「20歳代」が過半数(313人、55%)
- 成年年齢引き下げの認知度は、全年代の94.2%の人が知っていた。年代別では「19歳以下」が95.6%で、全年代の数値を超えていた。
- 一方で、成年年齢の引き下げに伴う「未成年者取消権(未成年者が親の同意を得ることなく行った法律行為は、取り消すことができる)」の認知については、全年代の75.4%の人が知っていたが、「19歳以下」では66.3%と、全年代の中で一番低い認知度であった。

#### ○このニュースを取り上げた理由

- 2022年4月から、成年年齢が18歳に引き下げられる。
- 一方で、若年層の消費者被害が増えるのではないかと懸念がある。
- 成年年齢の18歳引き下げに伴って、私たち大学生協の学生組合員のほとんどが「成年」になる。
- 全国大学生協連が加盟している「全国消費者団体連絡会」が、「成年年齢引き下げについての緊急アンケート」を実施し、全国大学生協連からも各ブロックを通じて協力を呼び掛けた。因果関係は不明だが、「19歳以下」「20~29歳」の回答数が増加している。

#### ○みんなで考えたいポイント

- ✓ 大学生の「成年年齢引き下げ」についての認知度は、本当に高い？
- ✓ 4月以降、何がかわって、何がかわらないのかを理解しよう！
- ✓ 消費者被害にあわないために必要な啓発活動は？

このニュースの引用元は  
[http://www.shodanre.ng.jp/Annai/pdf/755\\_01.pdf](http://www.shodanre.ng.jp/Annai/pdf/755_01.pdf)

※下の二次元バーコードからも読み取れます。

#### ○ちよつとぎになってみんなに知らせたいこと

- 内閣府など、その他の調査でも「成年年齢引き下げ」に認知度は、同じような傾向にある。
- 多くの自治体や消費者団体が、「成年年齢引き下げに伴う若者の消費者被害防止」を考える学習会を開催している。
- 「聞いたことはあるけど、内容はよくわからない」という人が調査結果以上に多いのではないかと予想で、理解度を高める取り組みが必要だと思えます。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



## STEP1

会員生協での取り組むための  
ヒントをご紹介します！

### ウクライナ緊急募金をよびかけましょう！

「この情勢下で、何か行動したいけど  
なにをすればいいかわからない…。」

私が2月末にウクライナでの戦闘が始まったとき、  
感じたことです。

それでも、何かできることはないかを考える中で、  
会員生協の皆さんからの知恵もあり、大学生協全体で  
「ウクライナ緊急募金」の呼びかけに取り組むことを提案します！



原田将弥  
(まーくん)  
全国学生委員会

### どうやって募金に取り組むの？

日本ユニセフ協会のウクライナ緊急募金を  
ご案内します！



必ず大学生協インフォメーションサイトをご覧に  
なってから募金の呼びかけを行ってください。

こちらをクリック または 右の二次元バーコードから

ID:univcoop PW:news

### どのように募金を広げる？

### SNSやHPを活用して募金を呼び掛けましょう！

京都大学生協(右図)では、**送金先をウクライナ緊急募金に変更したこと、募金箱の場所を知らせています。**

インフォメーションサイトでご紹介している「フレンドネーション」では、自分の生協の募金ページを作成することができます。(下図は2020年宮城教育大学生協での実践例です。)



#### ブロックチェーン

本記事は京都府立大学で実施された「フレンドネーション」に関する実践例です。詳細は以下のリンク先をご覧ください。

#### コメント (1)

コメント欄には、ご意見やご質問をいただくことができます。コメント欄には、ご意見やご質問をいただくことができます。



サッカー台 (袋詰めすとこ)の募金箱、寄付の受付先を一時的に変更しています。  
みなさんもそれぞれ、いろいろな考えや想いを巡らせておられると思いますので多くは語りませんが、関わり方のひとつとして、ご紹介しておきます。  
(職員・四方)



## 全社委からのお知らせ

### 平和について考える学習会#1の開催

4月3日(日)17:00-20:00に全国の大学生協の仲間と今起きている問題について学び、考えていることについて語り合うために「平和について考える学習会#1-ロシアによるウクライナ侵攻と国際法-」を開催いたします。大学生協インフォメーションサイト(スタッフオンリー): [https://www.univcoop.or.jp/staffroom/news/news\\_detail\\_577.html](https://www.univcoop.or.jp/staffroom/news/news_detail_577.html)

### 成人年齢引き下げ座談会

消費生活専門相談員であり、大学内外で講師もされている早野木の実先生へ、**コロナ禍で大きく変化した大学生活と大学生を狙う悪質商法**についてインタビューしました。

全国大学生協連HP: <https://www.univcoop.or.jp/fresh/life/interview/zadankai01.html>

### 社会的課題通信

全国生委員会で、学生・院生組合員の社会的課題への関心を高めることを目的に、社会的課題通信を発信しています。Web上で誰でも自由に閲覧できるので、ぜひご覧ください！社会的課題通信(全国大学生協連HP): <https://www.univcoop.or.jp/activity/wamaster/social/index.html>

### 読者アンケートへご協力ください！

<https://forms.office.com/r/pnrim29beL>

## 今月のコラム



國見伸行専務理事  
京都大学生協/全国社会的課題委員会委員長

「知り、知らせ、考え、話し合う。そして行動する」  
今こそこのことが強く求められているのかもしれない。

SNS、インターネットの発達により戦争の悲惨さ、言論統制の現実がリアルに伝わってきます。同時に「フェイクニュース」のような情報も入り乱れてます。触れた情報から私たちは判断することになります。ウクライナ危機はそのことの難しさを浮き彫りにしています。

プーチン大統領は核兵器の使用を示唆しました。このニュースに対して「ウクライナが核兵器を保持していたら侵攻が防げた」などのコメントがついています。

当然、様々な考えがありえます。自分の考えと異なるからと排除するのは誤った姿勢です。

でも、一致点に基づく行動はできるのではないのでしょうか。「武力侵攻による国境線の変更」「核兵器の使用反対」少なくとも、この一致点を広げることができればと思います。

発行日  
2022年3月28日  
発行機関  
全国社会的課題委員会

編集長  
尾崎史奈(全国学生委員会)  
お問い合わせ先  
[nfuca-gakusei@univ.coop](mailto:nfuca-gakusei@univ.coop)  
全国学生委員会・尾崎まで

